

黄金崎 不老不死温泉

Koganesaki Furou Fushi Onsen
(青森県深浦町)



東北旅行 7 日目の本日は、青森の市場で日本酒と酒の肴を買い込み、魚介料理を食し、鶴の舞橋を見て、黄金崎 不老不死温泉へやってきた。不老不死温泉は予想していたより大きな宿泊施設である。

不老不死温泉はもともと不老不死温泉だったが、2 回も不という漢字を使うのは縁起が悪いとして、現在の形になったという。

不老不死温泉には 3 つの風呂がある。早速、順に紹介していこう。

まずは大浴場。ここは宿泊者だけが利用できるようになっており、日帰り入浴は不可である。脱衣室にはコロナ対策のために脱いだものを入れる籠の数が減らされている。棚は 60 個あるが、籠は 32 個しかない。その他、脱衣室には貴重品ロッカー 30 個、洗面台 4 個、ドライヤー、綿棒がある。

浴室は広い。さすがに大浴場というだけのことにはある。洗い場は 25 カ所あり、黒糖と蜂蜜のシャンプー、コンディショナー、ボディソープが完備。使ってみると確かに甘いにおいがする。他に、温泉のエキスを入れたオリジナル固形石鹸も具備されている。お土産にもってこいだ。値段は 2 個で 800 円だ。こちらは使ってみるのを失念してしまった。

内湯の浴槽は 2 個あり、一方が白湯で、もう一方が温泉である。白湯はジャグジーになっており、適温。定員は 10 人程度。温泉はややぬるめの快適な温度であり、定員は 12 人程度だ。それにしてもこの温泉は色が濃い。良く言えば黄金色、悪く言えば泥色。鉄がふんだんに含まれているようで、においも鉄の

においだ。いかにも効能が高そうである。

露天風呂も温泉。小屋組みがあり、海が見える。冬は相当厳しい環境になりそうである。湯温は適温で定員は6人程度。

サウナ、水風呂はあるが、コロナ対策のため、使用不可となっている。確かに、サウナは三密の典型的環境だ。

尚、この宿のすべての浴槽が西側にある海岸を向いているので、夕陽を見ることができる。また、大浴場は男女入れ替え制になっており、4:00~9:00の時間帯、10:30~24:00の時間帯でそれぞれ別の風呂を楽しめる。

次に紹介するのは黄金の湯。大浴場を少しだけ小さくした感じだ。脱衣室の籠の数は36個、洗面台は3個、ドライヤーもある。貴重品ロッカーは脱衣室内に30個、脱衣室外に18個ある。日帰り入浴者が多いのでたくさんの貴重品ロッカーが用意されている。洗い場は19カ所で、こちらにはLeav Aloeと書かれたシャンプー、コンディショナー、ボディソープが完備。内湯の浴槽は2つあり、温湯と熱湯となっている。前者はややぬるめで定員6人程度、後者は適温で定員20人程度である。露天風呂はない。やはりぬるめの浴槽はお勧めである。

さて、最後に紹介するのが、不老不死温泉のハイライトである海辺の露天風呂だ。こちらは、アプローチにある通路で籠を拾い、履物を屋外用のサンダルに履き替え、外の通路を歩いて向かう。露天風呂は2つあり、一方が混浴、一方が女性専用だ。つまり、男性は混浴に入るしか選択肢がない。脱衣室はなく、屋外の棚に先ほど持ち込んだ籠を置く。籠の置き場所はせいぜい6個分しかないの、それ以上の人々が来てしまった場合は、地面に籠を置くしかない。そしてなぜか、恐らくであるが、混浴の脱衣場所と浴槽は、黄金の湯の女湯から丸見えなのである。なぜそうなっているのか、理由はわからない。

海辺にある浴槽はひょうたん型。定員は10~15人程度だろうか。湯温は適温で、湯は温泉であり、まさに黄金色。ところで、浴槽から溢れ出た湯はどこへ捨てられているのだろうかと見てみると、なんと海にそのまま捨てられている。なるほど、これぞ自然のままの温泉である。自然から得たものを改変せずに自然に返す。それだけのことである。久しぶりにこのような野趣あふれる温泉に入った。海という自然と一体化した温泉。これこそが日本の温泉である。幸か不幸か、入浴中に女性が現れることはなかった。

ちなみに、この天然温泉は、含鉄-ナトリウム-塩化物強塩泉（高張性中性高温泉）であり、筋肉または関節の慢性的な痛みまたはこわばり（関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、神経痛、五十肩、打撲、捻挫などの慢性期）、運動麻痺における筋肉のこわばり、冷え性、抹消循環障害、胃腸機能の低下（胃がもたれる、腸にガスがたまるなど）、軽症高血圧、耐糖能異常（糖尿病）、軽い高コレステロール血症、軽い喘息または肺気腫、痔の痛み、自律神経不安定症、ストレスによる諸症状（睡眠障害、うつ状態など）、病後回復期、疲労回復、健康増進、アトピー性皮膚炎、尋常性乾癬、慢性湿疹、表皮化膿症、きりきず、皮膚乾燥症などに効くという。

本当に不老不死の温泉があればとてもありがたいのだが、それはいくら願ってもかなわない。人間はだれもがいつか死ぬ。しかし、死ぬ前にこの温泉に入ることができ、満足である。

尚、館内のあちらこちらに「風呂は撮影禁止」と書かれていたので、撮影は遠慮しておいた。あしからず。どうしても写真が見たい方は、不老不死温泉の公式ホームページをチェックしてほしい。

取材レポート

DATA

名称	黄金崎 不老心死温泉
所在地	青森県西津軽郡深浦町大字船作字下清滝 15
電話	0173-74-3500
営業時間	日帰り 8:00~16:00 (最終受付 15:30) (日帰り客が利用できるのは黄金の湯と海辺の露天風呂のみ)
	宿泊者 大浴場 4:00~9:00、10:30~24:00 黄金の湯 8:00~20:00 海辺の露天風呂 日の出~日没
定休日	無休
入浴料	日帰り 大人 600円、小人 300円 宿泊者 無料
サウナ	あり (コロナ対策のため使用不可)
サウナ内のテレビ	なし
取材日	2020年某月某日
取材	銭湯愛好会東京支部
最寄りのスキー場	鱒ヶ沢